

令和 7 年度定期作況報告

6 月 20 日 現在
道総研酪農試験場

I. 気 象 概 況

5 月下旬から 6 月中旬までの気象概況は次のとおりである。

5 月下旬：最低気温は 5.8℃と平年並で、最高気温は 16.3℃と低く、平均気温は 10.8℃でやや低かった。降水量は 24.5mm で平年より 12.8mm 少なかった。日照時間は 63.2 時間で平年並であった。

6 月上旬：最低気温は 7.7℃と平年並で、最高気温は 20.4℃と高く、平均気温は 13.4℃でやや高かった。降水量は 42.5mm で平年並であった。日照時間は 68.9 時間で平年より 13.8 時間多かった。終霜は 6 月 2 日であった。

6 月中旬：最低気温が 11.4℃と平年より 2.5℃高く、最高気温が 22.4℃と平年より 4.4℃高かったため、平均気温は 16.5℃で平年より 3.6℃高かった。降水量は 21.5mm で平年より 24.5mm 少なかった。日照時間は 61.2 時間で平年より 28.7 時間多かった。

この 1 ヶ月間は、6 月中旬の気象において、気温が極めて高く、降水量が少なく、日照時間が極めて多く推移したことが特徴的で、総じると、気温は平年よりやや高く、降水量はやや少なく、日照時間はやや多かった。

気象表													
項目		5月下旬			6月上旬			6月中旬			平均または合計		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温	(℃)	10.8	12.0	△ 1.2	13.4	12.2	1.2	16.5	12.9	3.6	13.6	12.4	1.2
最高気温	(℃)	16.3	18.6	△ 2.3	20.4	18.2	2.2	22.4	18.0	4.4	19.7	18.3	1.4
最低気温	(℃)	5.8	6.2	△ 0.4	7.7	7.0	0.7	11.4	8.9	2.5	8.3	7.4	0.9
降水量	(mm)	24.5	37.3	△ 12.8	42.5	44.1	△ 1.6	21.5	46.0	△ 24.5	88.5	127.4	△ 38.9
降水日数	(日)	3.0	4.6	△ 1.6	3.0	3.7	△ 0.7	5.0	4.3	0.7	11.0	12.6	△ 1.6
日照時間	(時間)	63.2	66.6	△ 3.4	68.9	55.1	13.8	61.2	32.5	28.7	193.3	154.2	39.1

注 1) 平年値は前10カ年平均値

2) △は負の値を示す

Ⅱ. 当 場 作 況

1. とうもろこし

作況：平年並

事 由

播種床造成後の天候不良により播種日は5月21日で5日遅かった。播種後、5月下旬の気温が平年より低く推移したため、出芽期は6月1日で6日遅かった。出芽後の6月上旬以降は平均気温が平年並～やや高めで推移したため生育が進み、6月20日現在の草丈は1cm高く、出葉数は平年と同じであった。

以上のことから、現時点での作況は平年並と判断される。

品種名	播種日(月日)		
	本年	平年	比較
たちぴりか	5.21	5.16	5

品種名	出芽期(月日)			草丈 (cm)			出葉数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
たちぴりか	6.1	5.26	6	29	28	1	5.5	5.5	0.0

注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成22年度より供試品種を「たちぴりか」に変更している。

3) 平年値：平成30年～令和6年のうち最凶年の令和2年と最豊年の令和4年を除く5か年平均値。

4) △は減を表す。

2. 牧 草

(1) 採草型

チモシー単播

作況：1 番草 良

事 由

6月上旬は高温多照傾向であったが、萌芽の遅れと5月下旬が低温だったため、1番草の出穂始期は2年目草地で3日遅く、3年目草地で4日遅かった。1番草の刈取りは平年より3～4日遅い6月18日に行った。6月中旬は高温多照であったことから、1番草刈取り時の草丈は平年よりも2年目草地で21cm高く、3年目草地で12cm高かった。1番草の乾物収量は、2年目草地で775kg（平年比120%）と多く、3年目草地で731kg（平年比122%）と多かったことから、総じて良であった。

なお、6月20日現在の草丈は、再生萌芽前のため計測不能であった。

以上のことから、1番草の作況は良と判断される。

草地	草種	1番草								
		出穂始期(月/日)			刈取月日(月/日)			収穫時草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「なつちから」2年目	TY単播	6/14	6/11	3	6/18	6/15	3	126	105	21
「なつちから」3年目	TY単播	6/14	6/10	4	6/18	6/14	4	116	104	12

草地	草種	1番草						
		生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比指数
「なつちから」2年目	TY単播	4001	3350	651	775	644	131	120
「なつちから」3年目	TY単播	3346	3143	203	731	600	131	122

注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。
2) 平年値：平成30年～令和6年のうち、最凶年と最豊年を除く5か年平均値。2年目草地の最凶年は令和2年、最豊年は令和6年、3年目草地の最凶年は令和3年、最豊年は令和6年であった。
3) △は減を示す。

（２）放牧型

メドウフェスク単播

作況：１番草 やや良

作況：２番草 平年並

事 由

５月下旬はやや低温であったため、萌芽期の遅れが大きかった３年目草地では生育がやや遅れた。１番草の草丈は、平年よりも２年目草地で７cm高く、３年目草地で平年より４cm低かった。１番草の乾物収量は、２年目草地で３８５kg（平年比１５３％）と多く、３年目草地で１１７kg（平年比７４％）と少なかった。萌芽期の遅れに２年目草地と３年目草地に違いがあり、冬損は３年目草地で僅かに認められたことが影響したと推測される。

２番草の６月２０日現在の草丈は、２年目草地で平年並、３年目草地でやや高かった。

以上のことから、現時点での作況は１番草がやや良、２番草が平年並と判断される。

草地	草種	１番草						２番草		
		刈取月日（月／日）			草丈（cm）			６月２０日草丈（cm）		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「まきばさかえ」２年目	MF単播	６／２	６／１	１	６２	５５	７	４３	４１	２
「まきばさかえ」３年目	MF単播	６／２	５／３１	２	４２	４６	△４	３９	３１	８

草地	草種	１番草						
		生草収量（kg／１０a）			乾物収量（kg／１０a）			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比指数
「まきばさかえ」２年目	MF単播	１６６４	１２００	４６４	３８５	２５２	１３３	１５３
「まきばさかえ」３年目	MF単播	４４６	７１５	△２６９	１１７	１５９	△４２	７４

注 １）酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。
２）平年値：平成３０年～令和６年のうち、最凶年と最豊年を除く５か年平均値。２年目草地の最凶年は令和元年、最豊年は令和６年、３年目草地の最凶年は令和３年、最豊年は令和５年であった。
３）△は減を示す。